

年度	団体名	事業名	総事業費	補助金額	補助率	事業内容
平成31年度	海野史研究会	「歴史研究海野」作成事業	972,000 円	972,000 円	100%	「歴史研究海野」を作成しました。
	摂食障害自助グループ「バステル・ボコ」	精神障がい講演会「こころの病い」	200,000 円	200,000 円	100%	精神障がい講演会「こころの病い」を知るを開催しました。
	田沢木造り保存会	「大田区休養村とうぶ」にて木造り公演	111,600 円	83,000 円	75%	「大田区休養村とうぶ」において、木造り公演を行い、来訪する観光客へ木造りによる田沢御柱祭への観光を促しました。
	平成31年度合計		1,283,600 円	1,255,000 円		
令和2年度	常田区	常田誌発行事業	2,244,000 円	1,000,000 円	50%	古代から現代までの常田区の歴史をまとめ、区民が常田区の歴史と文化の沿革を知ることにより、今後の常田区の発展に役立て、後世に末永く伝承でき、「常田に住んでよかった」と実感できるよう「常田誌」を発行し、広く区民に配布しました。
	NET'S(ネッツ)	柿津里山地域活性化事業 「柿津フェスティバル」	729,930 円	729,000 円	100%	市内外から観光客を誘致できるように、また移住者希望者方へ柿津里山の魅力を発信しました。
	令和2年度合計		2,973,930 円	1,729,000 円		
R3年度より 事業補助の上限を50万円に変更						
令和3年度	NET'S(ネッツ)	柿津里山地域活性化事業「柿津フェスティバル」	290,000 円	290,000 円	100%	登山道を整備し、ウォーキング大会を開催しました。
	楽育ひろばtomi	どうみの子どもの元気な育ち応援プロジェクト	652,000 円	500,000 円	100%	里山探検事業10周年にあたり、記念誌を作成しました。
	中八重原区	レクリエーションポッチャによる地域間交流の促進及び健康増進事業	77,500 円	38,000 円	50%	ポッチャセットを購入し、地域間交流や健康増進につとめました。
	新張区	百体観音石造町石「巣音観音」絵馬並びに奉納場所開設	216,000 円	216,000 円	100%	トップアスリートに巣音観音へのお参りしていただくための絵馬と奉納場所を開設、及び新張区小中学生がトップアスリート応援ポスターを作成、掲示しました。
	NPO法人 海野宿トラスト	「海野宿の鐘」購入	400,000 円	300,000 円	75%	2019年天空の芸術祭で作成された海野宿の鐘を購入し、2021年東日本台風からの「復興の鐘」とし、後世に引き継ぐシンボルとしました。
	令和3年度合計		1,635,500 円	1,344,000 円		
令和4年度	御牧ふれあいの郷づくり協議会 青少年育成部会 八重原用水見学学習講師団	北御牧小学校社会科學習用八重原用水ガイドマップ増刷事業	452,000 円	452,000 円	100%	八重原用水ガイドマップを作成して、小学校へ提供して、子どもたちが小諸藩士黒澤嘉兵衛の手で1663年に完成した八重原用水を見学して、偉業功績を後世に伝える心を育成しました。
	しげの里づくりの会	第4回 第5回 どんどこ巨大紙相撲大会	409,952 円	307,000 円	75%	段ボール製巨大紙相撲を作成し、対戦。14チーム参加し、TV生放送もあり、雷電の知名度向上に貢献しました。
	海善寺北区	海善寺北区発足50周年記念誌制作事業	347,239 円	260,000 円	75%	発足50周年を迎えるにあたり、これまでの区の活動の収集・整理を行い、記録として編纂製本し、区の活性化の参考資料とするため記念誌を発行しました。
	茶話処おれんじ	新設団体認定事業	52,161 円	26,000 円	50%	認知症の人を支える人(認知症サポーター)が市の研修を受け、認知症の人が住み慣れた地域の中で過ごせる場所の提供、また家族と共に来て相談できる場所の提供をし認知症になんでも安心できる居場所を作りました。
	NET'S(ネッツ)	柿津里山地域活性化事業 「鳥帽子岳登山道整備」	19,770 円	19,000 円	100%	誰でもトレッキングや登山を楽しめるように、柿津の里から鳥帽子岳への登山道整備をしました。
	東御市民まちづくり会議 ひだまりの家プロジェクト部会	不登校へ悩む家族への支援と居場所を考える事業	264,796 円	264,000 円	100%	講演イベント「不登校で悩む家族支援と居場所を考える集い」を開催しました。
	令和4年度合計		1,545,918 円	1,328,000 円		

年度	団体名	事業名	総事業費	補助金額	補助率	事業内容
令和5年度	竹内不忘先生を顕彰する会	故竹内不忘氏顕彰碑建立事業	1,851,187 円	500,000 円	75%	日本影剣界に大きな功績を残された。栗林出身の竹内不忘先生の偉業を讃え、その業績を後世に伝えるため、没後10年を機に顕彰碑を湯楽里館に建立、記念式典の挙行により、大勢の来館者・市民への周知に努めた。
	西宮里づくりの会	荒廃地再生による子供の遊び場づくり	114,600 円	114,000 円	100%	荒廃地の再生により子ども達が遊べる地域の憩いの場の整備を行った。
	T3Climbing (ティースリークライミングクラブ)	新設団体補助	108,886 円	50,000 円 新設団体補助 上限5万円		クライミングのための岩場の整備を行うとともに、ルートの見直しを行い、ガイドブックに反映させ発刊。今後は市民を中心としたボルダーハイクを実施していく。
	雷電没後200年記念事業実行委員会	「雷電」の漫画制作による郷土の偉人普及事業 (令和5年分)	500,000 円	500,000 円	100%	令和6年度の「雷電」没後200年を契機に子どもたち等に「雷電」の生い立ちや活躍を学んでもらえる教材として漫画を作成。引き続き令和6年度も「雷電」の知名度向上等のため事業を継続し実施する。
	しげの里づくりの会	第6回 どんどこ巨大紙相撲大会	324,654 円	0 円	-	ワークショップや紙相撲力士づくりなどを実施し、第6回どんどこ巨大紙相撲大会を開催(参加チーム数:23チーム)。紙相撲を通じて東御市や雷電の知名度向上を図った。※当初の見込みより事業費が少なく、協賛金の収入の増により補助金額は0円
	本海野シニアクラブ白鳥会	ポッチャ購入	69,014 円	32,000 円	50%	ポッチャを購入し大会を開催したことにより地域交流を図った。
	乙女平公民館	ポッチャ購入	59,000 円	29,000 円	50%	ポッチャ競技を通じて区民相互の交流と親睦が図られ、大会に参加することにより、他区民との交流を持つことができた。
	田中区	ポッチャ購入	98,752 円	49,000 円	50%	ポッチャを購入し、高齢者の交流促進やコミュニティ意識の向上及び健康の増進が図れた。また、ポッチャを活用した地域交流活動をさらに促進することができた。
	鍋蓋砦を守る会	鍋蓋砦ランドマークの修繕事業	94,600 円	40,000 円	50%	川中島合戦の際、武田信玄公が川中島までの中継地として陣を張った鍋蓋砦は、市の指定文化財にも指定され古から地域のシンボルとして維持してきた。この砦のランドマークとして維持修繕することで、今後も地域活動の拠点として、地域づくり活動を推進していく。
	金井区	ポッチャによる区民交流	59,000 円	29,000 円	50%	ポッチャ用具を購入し、子どもから高齢者まで区民同士の交流を図りながら練習を行い、区民大会の実施や、市のポッチャ大会に参加し、世代を超えた区民の交流や健康づくりの場を提供できた。
令和6年度	柿津南区分会	ポッチャによる区民交流	62,582 円	31,000 円	50%	ポッチャの会を設立し、各種大会等への参加。今後も大会への参加回数を増やしていき、公民館活動の活性化を図る。
	市民まちづくり会議	生きづらさを抱える当事者の声を聴く事業	322,392 円	322,000 円	100%	様々な生きづらさを抱える当事者の現状を理解し、地域社会で支え合うことをテーマに講演イベント『生きづらさを抱える当事者の声を聴く集い』の開催。参加者120名、アンケート回収90枚
	令和5年度合計		3,664,667 円	1,696,000 円		
	乙女平公民館	ポッチャによる区民交流(2回目)	3,581 円	1,000 円	50%	昨年度に引き続き、ポッチャ競技を通じて区民相互の交流と親睦が図られ、大会参加などにより、継続して他区民との交流を持つことができた。
	田沢おらほ村活性化委員会	設立10周年おらほ村からの文化・芸術発信!	505,813 円	375,000 円	75%	田沢おらほ村活性化委員会の設立10周年事業として、田沢地域及び市内の文化・芸術発信の拠点づくりと開酒店に隣接の「蔵」をギャラリーとして改修し、ギャラリー展示などを企画・開催。また、地域外からの来訪に備え、現在設置されている区内案内看板の改修を行い、誘導をスムーズに行うと共に、来訪者の区内周遊につなげられた。
	八重原土地改良区	八重原用水寺子屋実施事業	510,000 円	485,000 円	100%	八重原用水の歴史を後世に語り継ぐため地域住民をはじめとする参加者を募り寺子屋を開催するための会場整備を実施した。また、八重原用水の歴史周知(寺子屋)の場として活用するとともに、各種イベント時における休憩所として活用した。
	雷電没後200周年実行委員会	「雷電」の漫画制作による郷土の偉人普及事業 (令和6年度分)	500,000 円	500,000 円	100%	昨年度より継続し「雷電」没後200年を契機に子どもたち等に「雷電」の生い立ちや活躍を学んでもらえる教材として漫画を作成。完成した漫画は「雷電」の知名度向上等のための資料として事業等で活用していく。
令和6年度	西宮里づくりの会	絵本「柿津、日本一の歩き巫女の里」作成および活用による東御市、歴史文化の伝承と地域の活性化事業	655,000 円	500,000 円	100%	東御市、歴史文化の伝承と地域の活性化事業として、絵本「柿津、日本一の歩き巫女の里」の作成を実施。今後は、完成した絵本を活用して朗読会や読み聞かせ勉強会などを開催し、①東御市の歴史文化の伝承による地域の活性化、②歴史文化ツーリズムによる関係人口(観光客)の拡大、③地元(故郷)を愛する子どもたちを育成などに活用していく。
	どんどこ巨大紙相撲実行委員会	雷電没後200年記念 第7回どんどこ巨大紙相撲大会	723,262 円	475,591 円	100%	力士づくりのワークショップ及びどんどこ巨大紙相撲大会を開催。東御市内外から24チームが参戦し、参加者約350名スタッフ43名一般観客者70~80名に加え、今年度は雷電没後200年事業として、千葉県佐倉市より参戦していただき佐倉市の市長や職員も来場していただきました。本事業をおし、紙相撲の面白さと大人、子ども関係なく楽しめることを伝えることができた。
令和6年度合計			2,897,656 円	2,336,591 円		